

高

知

市議会だより

№185
平成24年
5月1日
高知市
議会事務局



入園、進級おめでとう！ みんなで仲良く遊ぼうね。

主な内容

- 2頁 〈平成24年度当初予算を可決〉
〈審議日程〉
- 3頁 〈3月定例会を振り返って 会派の意見〉
- 4頁 〈さらなる観光都市への飛躍を〉
〈就学前教育の充実〉 〈人事議案〉
〈可決した主な議案〉
- 5頁 〈一人でも多くの命を守るために〉
〈子どもたちの思いを形に〉
〈休憩室〉
- 6頁 〈震災対策の着実な推進を〉
〈臨時会〉 〈請願・陳情の結果〉
- 7頁 〈委員会の活動〉 〈会議録の閲覧〉
〈会派の電話・FAX番号〉
- 8頁 〈意見書〉

臨時会（第431回）を1月31日に開催し、市長から団地下水道条例の一部改正議案など2件が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

3月定例会（第432回）を3月6日から26日までの21日間の会期で開催しました。

開会日には、行財政改革調査特別委員会、南海地震対策調査特別委員会および都市再生調査特別委員会が中間報告を行いました。その後、市長が平成24年度一般会計予算など78件の議案について提案理由説明を行いました。

9日から16日までの質問では、代表質問に5人、個人質問に16人（うち10人が一問一答方式を選択）が立ち、南海地震・津波対策、教育行政、健康福祉行政などについて質問を行いました。

市長提出議案 子どもまちづくり基金条例制定議案など、77件の議案を原案のとおり可決しました。また、職員定数条例の一部改正議案を修正可決しました。

最終日には、副市長、教育委員会委員および固定資産評価審査委員会委員の選任議案の3件が追加提出され、いずれも同意しました。

議員提出議案 市議会委員会条例の一部改正議案など3件を提出し、いずれも可決しました。

また、若者雇用をめぐるミスマッチ解消を求める意見書など18件の意見書議案を提出し、うち12件を可決しました。

平成24年度当初予算を可決

～希望と絆がつなぐ、あんしんの高知市を目指して～

平成24年度から25年度までの財源不足額は70億2千万円の見込みとなり、22年3月策定の新財政再建推進プランに基づく徹底した行政改革等により、前回プラン見直し時から約7億4千万円を圧縮しました。

24年度当初予算は、南海地震対策を最重点課題とし、新たな共生社会の実現に向け、「安心・安全のまちづくり」「産業振興と雇用確保」「環境共生都市の創造」に重点を置いた編成となっています。

当初予算市長説明要旨

～新年度予算の主な施策～

安心・安全のまちづくり

南海地震対策では、東日本大震災を受けて命を守る対策を最優先に位置付け、地区別津波避

難計画の策定、津波避難路および避難場所の整備、津波避難ビルの指定を対策の3本柱として取り組む。

市役所本庁舎は、建て替えに向け総合的な検討を進め、年内に新庁舎の基本構想を策定し、

水道事業では、針木浄水場と九反田配水所とを結ぶ送水幹線の二重化を図り、32年度中の事業完了を目指す。

介護保険事業計画では、特別養護老人ホーム等の開設や、自宅で健康に生活できる環境整備

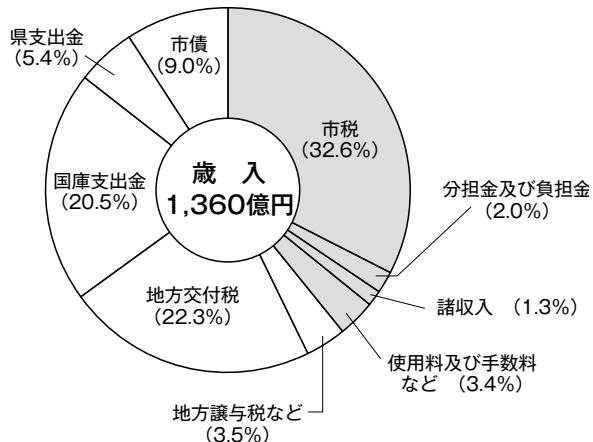
までの5年間を計画期間とし、官民連携によりソフトラジオを中心に取り組みを進め、併せて中心市街地活性化基本計画の策定に向けた取り組みを進める。

観光振興では、観光ガイドと巡るまち歩き「土佐つ歩」のコース新設や、五台山からのパノラマ夜景ツアー等に取り組むとともに、来年2月に「高知龍馬マラソン」を開催するなど、関係機関との連携を図りながら観光誘客に積極的に取り組む。

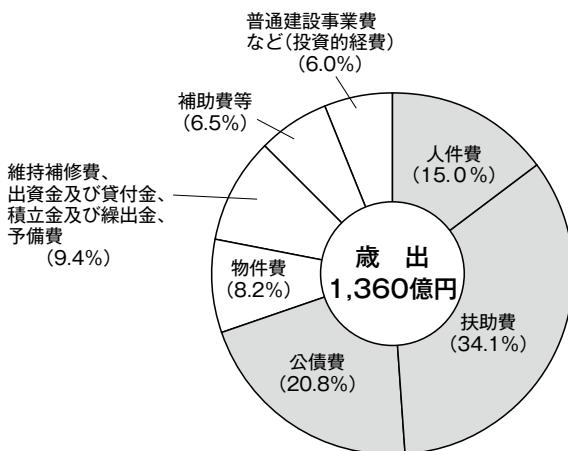
環境共生都市の創造

子どもまちづくり活動支援では、「(仮称)こどもファンド」を創設し、子どもの参画や視点を大切にしたまちづくり施策を進めます。

新クリーンセンター整備について、高知競馬場の未使用駐車場に移転することとし、24年度は基本構想の策定に取り組む。



平成24年度 一般会計予算構成



義務的経費

平成24年度末までに基本計画の策定に着手する。

学校施設・保育所園舎の耐震化についても、子どもたちの命と安全を確保するため、30年度の工事完了を目指し整備する。

消防署所の再編整備では、(仮称)南部分署の用地取得に着手し、長浜・春野両出張所を統合した南部地区の拠点消防庁舎として、26年度中の開署を目指す。

平成24年度末までに基本計画の策定に着手する。

保育料については、子育て家庭の負担軽減を図るため、同時入所の第2子に係る保育料の軽減幅を、現在の半額から3分の2まで拡大する。

雇用対策では、国の基金事業等を積極的に活用し、約300人の新規雇用の創出を目指す。

はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プランについては、23年度から27年度までの5年間を計画期間とし、官民連携によりソフトラジオを中心に取り組みを進め、併せて中心市街地活性化基本計画の策定に向けた取り組みを進める。

観光振興では、「土佐つ歩」のコース新設や、五台山からのパノラマ夜景ツアー等に取り組むとともに、来年2月に「高知龍馬マラソン」を開催するなど、関係機関との連携を図りながら観光誘客に積極的に取り組む。

環境共生都市の創造

子どもまちづくり活動支援では、「(仮称)こどもファンド」を創設し、子どもの参画や視点を大切にしたまちづくり施策を進めます。

新クリーンセンター整備について、高知競馬場の未使用駐車場に移転することとし、24年度は基本構想の策定に取り組む。

| 審議日程 (3月定例会) | |
|--------------|----------------|
| 6日 | 開会 |
| 12日 | 水口 晴雄 (新風クラブ) |
| 9日 | 代表質問 |
| 13日 | 山根 堂宏 (公明党) |
| 14日 | 平田 文彦 (新風クラブ) |
| 15日 | はた 愛 (日本共産党) |
| 16日 | 川村 貞夫 (新こうち未来) |
| 21・22日 | 下元 博司 (日本共産党) |
| 21・22日 | 長尾 和明 (市民クラブ) |
| 21・22日 | 寺内 憲資 (公明党) |
| 21・22日 | 門田 権四郎 (市民クラブ) |
| 21・22日 | 西森 美和 (公明党) |
| 26・19日 | 岡田 泰司 (日本共産党) |
| 21・22日 | 常任委員会 |
| 明採決 | 修正案提出・説明 討論 |
| 明採決 | 人事議案提案理由説明 |
| 閉会 | |

収益事業特別会計 国民宿舎特別会計 別会計の繰り上げ充用への留意を提言。新庁舎建設については議会に対して報告のないまま、あたかも建設が決定したかのような執行部の姿勢を批判。また職員の定員適正化では、これまでの職員数2700人という目標がありながら、突然の2860人への増員という、極めて危機感のない条例議案について、矛盾を厳しく追及した。その他観光振興では龍馬脱藩150年に当たり、龍馬暗殺までの5年

想定していないこと 消防署の再編成にスピード感を持つて取り組むことなどの答弁を得た。個人質問に登壇の平田文彦議員は、南海地震対策について、浦戸湾口防潮堤の整備状況をたたずとともに津波避難タワーの早期設置を求めた。また、学校と地域の連携拡大、学校の安全対策向上のための録画機能付き監視カメラ設置を強く要望した。次いで登壇した清水おさむ議員は、新たに地域主権戦略会議のメンバーになった市長の基本

し執行部は生活保護率が3%に達し、中でも就労可能な方を含むその他世帯が3年間で倍増全体の2割になっている状況の打開に向け、職業訓練と雇用保険の充実を挙げた。南海地震対応については、年度途中であつても補正予算で対応すると答弁
門田権四郎議員の質問に、教育のプロ集団としての学校組織の力量向上、保護者等の支援的教育力の向上により、小学校は全国トップクラス、中学校は全国平均を目標に取り組むと答弁

近森議員は市の商工觀光農林水産政策の無策を委員会で指摘。先進地事例や具体的な手法を指示。市政の積極的な地産外商への取り組みと地元商売人や業者を優先するよう要請しました。近森議員は市民が心から笑って暮らせる高知市を創ります。

高知市議会だより

代表質問に氏原嗣志議員、個人質問は、会派所属の全ての議員が登壇！

3月定例会を 振り返って 会派の意見

会派の意見

福島明謙員、川村貞夫謙員、上
田貢太郎議員、土居ひさし議員、
浜口卓也議員が、代表質問での
会派の考え方を広げる形で質問を
行つた。

とについてたたひした。
新庁舎は現在地に
地上5階建て免震構造
代表質問の田鍋剛議員に対し
執行部は新庁舎の建設地は現在
地、地上5階建ての免震構造

6名全員が質問、討論に立ち、代表質問では社会保障と税の一體改革やTPP、原発、地域主権改革に対し、国に追随する声長の政治姿勢をたたず。住宅リフォーム助成制度創設での仕事

寺内賀議員は観光振興の観点から、桂浜公園の空き店舗の改善を求める、市長は、関係者を基に、市長の政治姿勢、定員適正化と機構改革、防災関連対策、上下水道の両事業統合などについて質問しました。

間を今後の本市観光のマーケティングに掲げるよう強く要望した
個人質問は、戸田二郎議員、

姿勢や、総合計画と平成24年度予算との整合性、高知商業高校への市内中学生の入学枠設置な

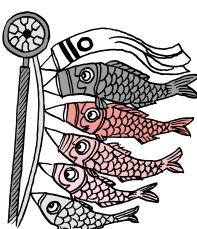
新年度予算には経済対策や 日本共産党

山根堂宏議員は代表質問において、岡崎市政三期目の初年度

公明黨

近森議員は市の商工観光、農林水産政策の無策を委員会で指摘。先進地事例や具体的な手法を指示。市政の積極的な地産外商への取り組みと地元商売人や業者を優先するよう要請しました。近森議員は市民が心から笑つて暮らせる高知市を創ります。

学校の避難所機能強化と
女性の視点や避難弱者の



さりなる観光都市への飛躍を ～偉人の故郷「高知」～

平成23年3月から開催していた「志国高知龍馬ふるさと博」が3月末で閉幕しました。

4月以降は「龍馬博」および「ふるさと博」を通じて培つた観光力を生かし、「リヨーマの休日」キャンペーンなどによる観光客誘致に取り組んでいきます。

問

「龍馬の生まれたまち記念館」を訪れる観光客に対する

サービスの強化策について聞く。

答

平成13年度に「小・中学
生のための坂本龍馬物語」を作成している。また、24年度から使用する道徳教育用の郷土資料集「ふるさとの志」でも取り上

げていく。
学校教材を整えていく考えはない」と考えている。

問

坂本龍馬について学べる

親をより全国区にしたいと考えており、土佐つ歩のまち歩きに長宗我部コースを設け、情報発信に努めている。今後もゆかりの地域住民や関係者の方々とともに、さまざまなメディアで取り上げられるよう努力していく。

答

本市としても長宗我部元

親をより全国区にしたいと考えており、土佐つ歩のまち歩きに

ある長宗我部元親について、所見を聞く。

主な議案

○南海地震等災害復興基金条例制定議案

南海地震等の大規模災害発生時に、本市における社会基盤の復旧および復興に資するため、標記基金を設置することについて、条例を制定するもの。

○廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正議案

ごみ集積所に置かれた資源ごみについて、市および市から委託を受けた者以外の者が収集運搬することを禁止するとともに、当該違反者に對して20万円以下の罰金刑を科すことができるようするため、条例の一部を改正するもの。

○水道布設工事に係る監督者の配置及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例制定議案

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（平成23年法律第105号）による水道法の改正に伴い、布設工事監督者の配置に関する基準等を定めるため、条例を制定するもの。

就学前教育の充実



園児の学びや

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う非常に重要な時期です。幼児期の環境やその時期に受けた教育は、その後の人生や生き方に大きな影響を及ぼすといわれています。

具体的には、幼児教育と小学校教育の滑らかで確実な接続を行うこと、そして幼稚園・保育

所・小学校の教職員同士が指導法の違いを超えて連携しながら、一貫した教育を行うことを考へている。

また、その役割は課題や現状を把握し、先進事例に学びながら、「人をつなぐ」「教育をつなぐ」「保護者をつなぐ」ことであると考えている。

○安藤副市長が退職

安藤保彦副市長が3月31日付で退職されました。

3月定例会最終日の本会

議で市長が感謝の言葉を送り、さらに、議会を代表して近藤強議員が感謝演説を行いました。

これを受けて安藤副市長が謝辞を述べました。

人事議案

3月定例会最終日の26日に、

市長から副市長、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任議案が提出され、それぞれ同意しました。

副市長 中嶋 重光
教育委員会委員 吉岡 章
固定資産評価審査委員会委員 山本 和正
伊藤 和彦
氏原 光隆
田村 二郎
西本 統洋
山本 直子
山本 司郎

○安藤副市長が退職

安藤保彦副市長が3月31日付で退職されました。

3月定例会最終日の本会

議で市長が感謝の言葉を送り、さらに、議会を代表して近藤強議員が感謝演説を行いました。

これを受けて安藤副市長が謝辞を述べました。

答

28歳で脱藩し、33歳で亡くなるまでの5年間は、薩長同盟の締結や大政奉還の実現など日本の夜明けのために活躍した、龍馬が一番輝いた期間である。

答

本年の教育課題である学力と体力の向上については、小学校だけで解決するには難

問

平成24年度に就学前教育班を新設する目的と役割について聞く。

答

本年は龍馬脱藩150年に当たることから、3月には脱藩ゆかりの地を歩く「龍馬飛騰ウォ

高知市議会だより

一人でも多くの命を守るために

〔消防署所の再編整備〕

消防署所の再編計画について聞く。

答 再編計画は、庁舎の耐震対策と併せ、現在の3本署7出張所体制を4本署1分署3出張所体制に整備し、市域全体の配置の適正化や、人員・車両の効率的配置を図るとともに、火災・救急等の通常の消防活動および南海地震等の大規模災害における対応力の充実強化を目指すものである。

- ・海拔約20メートルの高台への移転
- ・住民の一時避難所としての機能の付備
- ・敷地内への自家用給油施設や水槽車の配備

である。

〔救急車の適正利用〕

救急搬送は、災害や事故等により生命の危険や著しい悪化の恐れのある傷病者の迅速な搬送を目的としています。

近年、全国的に軽症者の不適切な救急車利用により、救急出動件数が急増し、一刻を争う傷病者の搬送に影響が出ることが危惧されています。

そのため、今後はマスメディア等への働き掛けなど、あらゆる機会を通じて救急車の適正利用について、これまで以上に積極的に啓発に取り組んでいく。

また、軽症者で交通手段がない場合等の実情に合わせ、民間の患者等搬送事業者や県救急医療情報センターの周知を図り、

適正利用の実効性を高めていく。

東京消防庁が試行している将来の地域を支えていく子どもたちに、早くからまちづくりに関わってもらうことにより、市民性を醸成していくこと。

また、子どもたちが主体的にまちづくり活動に参加することにより、重要施策として取り組んでいる地域コミュニティの再構築にも効果をもたらすと期待している。

ボートが必要である。

今後、子どもたちが運営する「とさつ子タウン」のイベントに積極的に関わっている県内外の大学生や、地域の大人に協力ををお願いしたいと考えている。

運営形態を、既存のまちづくりファンドの公益信託方式ではなく、基金方式とした考えを聞く。

は、助成金の管理等に大人のサポートが必要である。

10年間の予算額として2000万円を計上しているが、

趣旨に賛同する個人や企業の方

に、支援や寄附という形で広く

関わっていただきたいと考え、

基金方式とした。

「イクメン」

長浜・春野両出張所を統合し南部地区の拠点となる（仮称）南部分署の役割を聞く。

（仮称）南部分署について、

では、南海地震発生時に土砂崩

れや海岸部の橋梁損傷等により、

南部地区が孤立することや、津

波による甚大な被害を想定した

具体的には、

この春、不肖の息子が小学校に上がりました。2年間通つた幼稚園の友達とは別の道を歩むことになりましたが、自宅から歩いて5分の市立小学校を選択したことは、年々発生する可能性が高くなる次期南海地震に備え、少しでも自家の近くにと考へる私にとって必然でありました。

問題は息子をどのように説得するかでしたが、地震・津

戦が奏功。今では元気に新たな学びやに通学しています。

この一件を含め、私にとつ



平成19年の54・2%から23年は52・7%と1・5%減少している。しかし、23年の出動件数は1万6000件を超えており、割合は減少しているものの、実数は増加している。

答 救急車利用のルールとマナーを普及・定着させるための広報活動について聞く。

答 市民から救急要請がある場合には出動を原則としており、現状を改善しなければ、真に緊急を要する場合の対応が遅れ、救命率に影響が出ることがあります。

近年、全国的に軽症者の不適切な救急車利用により、救急出動件数が急増し、一刻を争う傷病者の搬送に影響が出ることが危惧されています。

そのため、今後はマスメディア等への働き掛けなど、あらゆる機会を通じて救急車の適正利用について、これまで以上に積極的に啓発に取り組んでいく。

また、軽症者で交通手段がない場合等の実情に合わせ、民間の患者等搬送事業者や県救急医療情報センターの周知を図り、適正利用の実効性を高めていく。

東京消防庁が試行している将来の地域を支えていく子どもたちに、早くからまちづくりに関わってもらうことにより、市民性を醸成していくこと。

また、子どもたちが主体的にまちづくり活動に参加することにより、重要施策として取り組んでいる地域コミュニティの再構築にも効果をもたらすと期待している。

ボートが必要である。

今後、子どもたちが運営する「とさつ子タウン」のイベントに積極的に関わっている県内外の大学生や、地域の大人に協力ををお願いしたいと考えている。

運営形態を、既存のまちづくりファンドの公益信託方式ではなく、基金方式とした考えを聞く。

は、助成金の管理等に大人のサポートが必要である。

10年間の予算額として2000万円を計上しているが、

趣旨に賛同する個人や企業の方に、支援や寄附という形で広く

関わっていただきたいと考え、基金方式とした。

子どもたちの思いを形に

〔仮称〕こどもファンド創設

子どもたちの地域活動を支援するための助成制度として「（仮称）こどもファンド」が平成24年度に創設されます。

この制度は、18歳以下の子ども3人以上と20歳以上の大人2人以上で構成される団体を対象に、1団体当たり20万円を上限に助成するもので、4月から事業の募集を開始し、7月上旬に助成の決定を行う予定です。

子どもたちに助成決定の審査過程にも参加してもらうなど、子どもの参画や視点を大切にした施策を進め、将来の本市のまちづくりを担う人材の育成やコミュニケーション活動の活性化につながる、先進的な事業を目指しています。

〔仮称〕ファンド創設の目的について聞く。

将来の地域を支えていく子どもたちに、早くからまちづくりに関わってもらうことにより、市民性を醸成していくこと。

また、子どもたちが主体的にまちづくり活動に参加することにより、重要施策として取り組んでいる地域コミュニティの再構築にも効果をもたらすと期待している。

運営形態を、既存のまちづくりファンドの公益信託方式ではなく、基金方式とした考え方を聞く。

は、助成金の管理等に大人のサポートが必要である。

今後、子どもたちが運営する「とさつ子タウン」のイベントに積極的に関わっている県内外の大学生や、地域の大人に協力ををお願いしたいと考えている。

運営形態を、既存のまちづくり活動に参加することにより、重要施策として取り組んでいる地域コミュニティの再構築にも効果をもたらすと期待している。

10年間の予算額として2000万円を計上しているが、

趣旨に賛同する個人や企業の方に、支援や寄附という形で広く

関わっていただきたいと考え、基金方式とした。

は、助成金の管理等に大人のサポートが必要である。

今後、子どもたちが運営する「とさつ子タウン」のイベントに積極的に関わっている県内外の大学生や、地域の大人に協力を

をお願いしたいと考えている。

運営形態を、既存のまちづくりファンドの公益信託方式ではなく、基金方式とした考え方を聞く。

は、助成金の管理等に大人のサポートが必要である。

今後、子どもたちが運営する「とさつ子タウン」のイベントに積極的に関わっている県内外の大学生や、地域の大人に協力を

をお願いしたいと考えている。

運営形態を、既存のまちづくり活動に参加することにより、重要施策として取り組んでいる地域コミュニティの再構築にも効果をもたらすと期待している。

10年間の予算額として2000万円を計上しているが、

趣旨に賛同する個人や企業の方に、支援や寄附という形で広く

関わっていただきたいと考え、基金方式とした。

は、助成金の管理等に大人のサポートが必要である。

今後、子どもたちが運営する「とさつ子タウン」のイベントに積極的に関わっている県内外の大学生や、地域の大人に協力を

震災対策の着実な推進を

東日本大震災から1年が経過する中、命を守る対策を最優先に位置付けられた当初予算案が執行部から提出されました。その内容は、地区別津波避難計画の策定や防災教育の推進など、ソフト対策、津波避難路等の整備に係る費用など、地域の防災力を高め、命を守る対策に約7億1350万円。また学校施設をはじめとする防災拠点施設の整備などのハード対策に約44億7850万円を計上しており、その規模は前年度の約1・6倍となっています。

代表および個人質問では、対策の着実な推進を目指して、さまざまな角度から活発な質問が行われました。

災害時の初動活動

問 災害時の保育所の避難対策について聞く。

答 保育所では改築等により耐震性を確保するなど、まず地震による倒壊から子どもを守り、津波に対しては高台や高層建築物への避難を基本としている。また、保育士等の対応については地震災害対策マニュアルを策定しており、各園の立地条件等を加味し、見直しを行いながら体制の構築に努めている。さらに、避難訓練時や日常の散歩の際にも、園児を避難場所まで連れて行くなど、常に災害を意識した取り組みを今後も継続していく。

問 大規模災害時の消防の初動活動について聞く。

答 現行の大規模地震災害警防計画は平成24年度中に見直し予定であるが、東日本大震災の

実態から、消防の初動活動の在り方等については、昨年末に暫定的な計画案を策定した。

具体的な活動方針として、住民と消防団員の命を最優先する

ことを基本とし、①津波到達予測時間との関係から、避難誘導、避難行動完了時間を見定める。②当該完了時間を超過する恐れがある場合、避難広報を行いながら直ちに車両を高台等へ避難させる。③車両による退避が困難な場合、これを放棄して速やかに避難誘導、退避を完了する。また、そのため必要な退避場所等の選定といった事前対策を実施する等を定めている。

問 自主防災組織

答 自主防災組織の結成率を平成24年2月1日現在の57%から向上させる上で課題となる

町内会等がない地域への対応について聞く。

問 町内会等がない空白地帯には、まず町内会以外の組織や団体に自主防災組織の結成を推進していただき、各地域の状況に応じて柔軟な取り組みを行いたいと考えている。

答 併せて校区単位での取り組みや、その周辺地域との連携の仕組みづくり、また自主防災カードの作成等をきっかけとして、全市域での組織化を目指していく。

新たな被害想定・地域への説明

問 国の新たな被害想定に対し、地域防災対策などの地域説明会の実施について聞く。

答 国が3月末に発表する最大クラスの津波高の推計結果を受け、秋ごろには、県から各市町村別の被害想定が出される見込みであり、これらを見極めていく必要がある。

問 また、東日本大震災の被災地にチームを編成して足を運び、具体的な復旧・復興計画について視察したいと考えている。このため、地域説明会の実施は秋以降になるが、市内沿岸部の地域を中心に、地元との意見交換をしていきたいと考えている。

問 津波避難タワーについての考え方を聞く。

3月定例会で 請願・陳情

【採択】

- 津波避難タワーの建設を求める件
- 春野東部地域に商業施設が立地可能となる都市計画行政の実施に関する件
- 五台山小学校に児童クラブの設立を求める件
- 住宅リフォーム助成制度創設を求める件
- 四国地方整備局及び各事務所の存続を求める意見書提出の件
- 土佐山小・中学校統合整備計画について
- 高校授業料無償化の継続を求める意見書提出の件

【不採択】

- 市街化調整区域における既存建物建築物の有効活用について
- 「南海地震対策特別税」の導入に関する件
- 農道・市道の道路指定及び土地境界の確認に関する件
- 用水路改修に関する件
- 現行の公的保育制度の拡充を国に対して求める意見書提出の件
- 公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める件

第431回臨時会

1月31日に臨時会を開催し、動向を注視して補正予算での対応など、具体的な検討に入らなければいけないと考えている。

問 新クリーンセンター整備や消防局の（仮称）南部分署建設において、新たな被害想定をどのように反映させていくのか

答 新クリーンセンターについては、地元協議により避難施設の併用を考えており、（仮称）南部分署においても、住民の一時避難所機能を備える計画である。

答 新クリーンセンターは、パッカード車の車庫を含めて海拔約12メートル、（仮称）南部分署は海拔約20メートルの場所に建設する予定であり、3月上旬時点での災害予測では浸水区域になつてないが、今後の災害予測について検討していく。

市長から徳谷第二雨水ポンプ場土木建築工事（23-1）請負契約締結議案など2件の議案が提出され、いずれも全員賛成で可決しました。

3月定例会に
提出した

意
見
書

(要旨)

(13)(9)(1)(
)(
)(12)(8)
(18)は全員賛成で、
は賛成多数で可決しました。
は否決しました。

施設整備に係る各種法令による
基準の緩和など2項目を早急に
実施するよう国に強く要望する。
など4項目について、速やかな
実施を政府に強く要望する。

各事務所の存続を

関係への根本的な転換を進めて
いくものでなければならない。
よって、権限移譲に伴い必要と
なる財源措置を確実に行うこと
など4項目について、速やかな
実施を政府に強く要望する。

料や利用料の負担軽減について
も、必要な措置を講じるよう国
に強く要望する。

(4)父子家庭支援策の拡充を

求める意見書

年々増加している父子家庭は、
経済的に不安定で、子育て等で
多くの課題を抱えているが、

父子家庭と母子家庭では、行政
による支援の内容に大きな差が
ある。よって、母子家庭に限ら
れている諸制度について、父子

家庭も対象とするよう改善を行
うとともに、2項目の速やかな
実施を政府に強く要望する。

(7)鳥獣被害防止対策の充実を
求める意見書

住民自治、国と地方の適切な
役割分担、財源とその配分、使
途など、改善すべき課題はたく
さんあると認識しているが、出
先機関を原則廃止し、地域間格
差、地方切り捨てにつながる現
在の地方分権改革の動きには賛
同できない。よって、国民の安
全、安心を守るため、四国地方
整備局およびその事務所、出張
所の廃止や地方移譲は行わない
ことなど3項目について国等に
求める。

(14)伊方原子力発電所の
正常化に向けた迅速な対応を
求める意見書

(15)秘密保全法制定に反対し、
情報公開の推進を

求める意見書

(16)共通番号（マイナンバー）
制度の導入に反対する意見書

(17)子ども・子育て新システムの
方針撤回を求める意見書

(18)公的年金の改悪に
反対する意見書

(19)公的年金の改悪に
反対する意見書

(20)公的年金の改悪に
反対する意見書

(21)公的年金の改悪に
反対する意見書

(22)公的年金の改悪に
反対する意見書

(23)公的年金の改悪に
反対する意見書

(24)公的年金の改悪に
反対する意見書

(25)公的年金の改悪に
反対する意見書

(26)公的年金の改悪に
反対する意見書

(27)公的年金の改悪に
反対する意見書

(28)公的年金の改悪に
反対する意見書

(29)公的年金の改悪に
反対する意見書

(30)公的年金の改悪に
反対する意見書

(31)公的年金の改悪に
反対する意見書

(32)公的年金の改悪に
反対する意見書

(33)公的年金の改悪に
反対する意見書

(34)公的年金の改悪に
反対する意見書

(35)公的年金の改悪に
反対する意見書

(36)公的年金の改悪に
反対する意見書

(37)公的年金の改悪に
反対する意見書

(38)公的年金の改悪に
反対する意見書

(39)公的年金の改悪に
反対する意見書

(40)公的年金の改悪に
反対する意見書

(41)公的年金の改悪に
反対する意見書

(42)公的年金の改悪に
反対する意見書

(43)公的年金の改悪に
反対する意見書

(44)公的年金の改悪に
反対する意見書

(45)公的年金の改悪に
反対する意見書

(46)公的年金の改悪に
反対する意見書

(47)公的年金の改悪に
反対する意見書

(48)公的年金の改悪に
反対する意見書

(49)公的年金の改悪に
反対する意見書

(50)公的年金の改悪に
反対する意見書

(51)公的年金の改悪に
反対する意見書

(52)公的年金の改悪に
反対する意見書

(53)公的年金の改悪に
反対する意見書

(54)公的年金の改悪に
反対する意見書

(55)公的年金の改悪に
反対する意見書

(56)公的年金の改悪に
反対する意見書

(57)公的年金の改悪に
反対する意見書

(58)公的年金の改悪に
反対する意見書

(59)公的年金の改悪に
反対する意見書

(60)公的年金の改悪に
反対する意見書

(61)公的年金の改悪に
反対する意見書

(62)公的年金の改悪に
反対する意見書

(63)公的年金の改悪に
反対する意見書

(64)公的年金の改悪に
反対する意見書

(65)公的年金の改悪に
反対する意見書

(66)公的年金の改悪に
反対する意見書

(67)公的年金の改悪に
反対する意見書

(68)公的年金の改悪に
反対する意見書

(69)公的年金の改悪に
反対する意見書

(70)公的年金の改悪に
反対する意見書

(71)公的年金の改悪に
反対する意見書

(72)公的年金の改悪に
反対する意見書

(73)公的年金の改悪に
反対する意見書

(74)公的年金の改悪に
反対する意見書

(75)公的年金の改悪に
反対する意見書

(76)公的年金の改悪に
反対する意見書

(77)公的年金の改悪に
反対する意見書

(78)公的年金の改悪に
反対する意見書

(79)公的年金の改悪に
反対する意見書

(80)公的年金の改悪に
反対する意見書

(81)公的年金の改悪に
反対する意見書

(82)公的年金の改悪に
反対する意見書

(83)公的年金の改悪に
反対する意見書

(84)公的年金の改悪に
反対する意見書

(85)公的年金の改悪に
反対する意見書

(86)公的年金の改悪に
反対する意見書

(87)公的年金の改悪に
反対する意見書

(88)公的年金の改悪に
反対する意見書

(89)公的年金の改悪に
反対する意見書

(90)公的年金の改悪に
反対する意見書

(91)公的年金の改悪に
反対する意見書

(92)公的年金の改悪に
反対する意見書

(93)公的年金の改悪に
反対する意見書

(94)公的年金の改悪に
反対する意見書

(95)公的年金の改悪に
反対する意見書

(96)公的年金の改悪に
反対する意見書

(97)公的年金の改悪に
反対する意見書

(98)公的年金の改悪に
反対する意見書

(99)公的年金の改悪に
反対する意見書

(100)公的年金の改悪に
反対する意見書

(101)公的年金の改悪に
反対する意見書

(102)公的年金の改悪に
反対する意見書

(103)公的年金の改悪に
反対する意見書

(104)公的年金の改悪に
反対する意見書

(105)公的年金の改悪に
反対する意見書

(106)公的年金の改悪に
反対する意見書

(107)公的年金の改悪に
反対する意見書

(108)公的年金の改悪に
反対する意見書

(109)公的年金の改悪に
反対する意見書

(110)公的年金の改悪に
反対する意見書

(111)公的年金の改悪に
反対する意見書

(112)公的年金の改悪に
反対する意見書

(113)公的年金の改悪に
反対する意見書

(114)公的年金の改悪に
反対する意見書

(115)公的年金の改悪に
反対する意見書

(116)公的年金の改悪に
反対する意見書

(117)公的年金の改悪に
反対する意見書

(118)公的年金の改悪に
反対する意見書

(119)公的年金の改悪に
反対する意見書

(120)公的年金の改悪に
反対する意見書

(121)公的年金の改悪に
反対する意見書

(122)公的年金の改悪に
反対する意見書

(123)公的年金の改悪に
反対する意見書

(124)公的年金の改悪に
反対する意見書

(125)公的年金の改悪に
反対する意見書

(126)公的年金の改悪に
反対する意見書

(127)公的年金の改悪に
反対する意見書

(128)公的年金の改悪に
反対する意見書

(129)公的年金の改悪に
反対する意見書

(130)公的年金の改悪に
反対する意見書

(131)公的年金の改悪に
反対する意見書

(132)公的年金の改悪に
反対する意見書

(133)公的年金の改悪に
反対する意見書

(134)公的年金の改悪に
反対する意見書

(135)公的年金の改悪に
反対する意見書

(136)公的年金の改悪に
反対する意見書

(137)公的年金の改悪に
反対する意見書

(138)公的年金の改悪に
反対する意見書

(139)公的年金の改悪に
反対する意見書

(140)公的年金の改悪に
反対する意見書

(141)公的年金の改悪に
反対する意見書

(142)公的年金の改悪に
反対する意見書

(143)公的年金の改悪に
反対する意見書

(144)公的年金の改悪に
反対する意見書

(145)公的年金の改悪に
反対する意見書

(146)公的年金の改悪に
反対する意見書

(147)公的年金の改悪に
反対する意見書

(148)公的年金の改悪に
反対する意見書

(149)公的年金の改悪に
反対する意見書

(150)公的年金の改悪に
反対する意見書

(151)公的年金の改悪に
反対する意見書

(152)公的年金の改悪に
反対する意見書

(153)公的年金の改悪に
反対する意見書

(154)公的年金の改悪に
反対する意見書

(155)公的年金の改悪に
反対する意見書

(156)公的年金の改悪に
反対する意見書

(157)公的年金の改悪に
反対する意見書

(158)公的年金の改悪に
反対する意見書

(159)公的年金の改悪に
反対する意見書

(160)公的年金の改悪に
反対する意見書

(161)公的年金の改悪に
反対する意見書

(162)公的年金の改悪に
反対する意見書

(163)公的年金の改悪に
反対する意見書

(164)公的年金の改悪に
反対する意見書

(165)公的年金の改悪に
反対する意見書

(166)公的年金の改悪に
反対する意見書

(167)公的年金の改悪に
反対する意見書

(168)公的年金の改悪に
反対する意見書

(169)公的年金の改悪に
反対する意見書

(170)公的年金の改悪に
反対する意見書

(171)公的年金の改悪に
反対する意見書

(172)公的年金の改悪に
反対する意見書

(173)公的年金の改悪に
反対する意見書

(174)公的年金の改悪に
反対する意見書

(175)公的年金の改悪に
反対する意見書

(176)公的年金の改悪に
反対する意見書

(177)公的年金の改悪に
反対する意見書

(178)公的年金の改悪に
反対する意見書

(179)公的年金の改悪に
反対する意見書

(180)公的年金の改悪に
反対する意見書

(181)公的年金の改悪に
反対する意見書

(182)公的年金の改悪に
反対する意見書

(183)公的年金の改悪に
反対する意見書

(184)公的年金の改悪に
反対する意見書

(185)公的年金の改悪に
反対する意見書

(186)公的年金の改悪に
反対する意見書

(187)公的年金の改悪に
反対する意見書

(188)公的年金の改悪に
反対する意見書

(189)公的年金の改悪に
反対する意見書

(190)公的年金の改悪に
反対する意見書

(191)公的年金の改悪に
反対する意見書

(192)公的年金の改悪に
反対する意見書

(193)公的年金の改悪に
反対する意見書

(194)公的年金の改悪に
反対する意見書

(195)公的年金の改悪に
反対する意見書

(196)公的年金の改悪に
反対する意見書

(197)公的年金の改悪に
反対する意見書

(198)公的年金の改悪に
反対する意見書

(199)公的年金の改悪に
反対する意見書